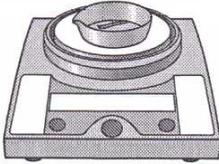


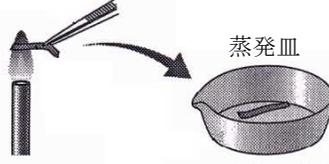
金属を空气中で加熱するとどうなるか。

実験 A

マグネシウムリボンの質量をはかる。



加熱する



蒸発皿

加熱後の物質

マグネシウムリボン



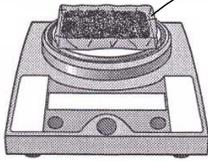
加熱後の物質



うすい塩酸

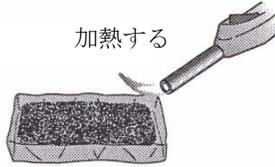
実験 B

スチールウールの質量をはかる。



アルミニウムはく皿

加熱する



加熱後の物質

スチールウール



加熱後の物質



うすい塩酸

実験 A

	加熱中の様子	質量関係	塩酸に入れる	みがく	電流
マグネシウムリボン	光や熱を出して燃えた	軽い	水素を発生してとける	金属光沢がある	流れる
加熱後の物質 酸化マグネシウム		重い	気体は発生しない	ない	流れない
スチールウール	炎を出さずに赤くなって燃える。	軽い	水素を発生してとける	金属光沢がある	流れる
加熱後の物質 酸化鉄		重い	気体は発生しない	ない	流れない

① マグネシウムやスチールウールは、加熱すると空气中の酸素と結びつき、その分重くなる。オカキ

② マグネシウム + 酸素 → 酸化マグネシウム

2種類の物質が結びついて別の物質に生成することを化合という。

③ 物質が酸素と化合することを酸化といい、できた物質を酸化物という。

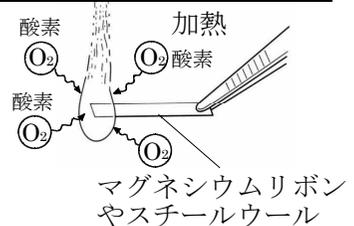
④ 酸化のうち、光や熱を出しながら激しく酸化することを、特に燃焼という。

⑤ 金属が空气中で穏やかに酸化されてできる、もろい物質のことをさびという。

⑥ 『マグネシウム + 酸素 → 酸化マグネシウム』の化学反応式を書け。



加熱すると空气中の酸素と結びつてその分だけ重くなる。



マグネシウムリボンやスチールウール